



あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

2008. 2 月号

第9回 博物館まつり



第8回博物館まつりより

ごあいさつ

第9回 博物館まつり
実行委員長 山中 淳仁

第9回博物館まつりを開催いたします。

平塚市博物館は、市民の皆様と共に活動しているユニークな博物館で、現在25を数えるサークルが学芸員と共に各種の部門で、多岐に亘り活動しております。

本年の博物館まつりは、14のサークルが活動内容やその成果を多くの市民の方々に知って頂くために行われるもので、ポスター、展示、発表会と実演そして今回は、新たに「博物館太鼓連」の参加によるお囃子演奏もあり、まつりを盛り上げます。

「学ぶ・楽しむ・遊ぶ」を通じて「博物館まつり」をご理解頂き、多くの皆様が各サークルにご参加下さいます様、お待ち致しております。

博物館まつり開催にあたって

館長 浜口 哲一

今年もまた大勢の方々の参加協力によって「博物館まつり」を開催することができました。実行委員の皆さんをはじめ、力添えを下された多くの方々に感謝申し上げます。

かつて多くの博物館では、館から市民へ、情報が一方的に流れているだけでした。それはそれで有用な一面がありましたが、そこには「まつり」は生まれませんでした。平博で「まつり」が定着してきたのには、館と市民が協働で多くのことを成し遂げてきたし、時には市民が情報の発信者になって、双方向の情報の流れが生み出されてきた、そうした背景があることを改めて書き記しておきたいと思います。そしてまた、博物館の「まつり」は一過性のイベントとして終わるのではなく、これからの活動の糧となる多くの資料と情報の蓄積につながっていく、そんな内容でありたいと思います。

「まつり」をご覧になった方々が、新年度には積極的な参加者になってくださり、さらに充実した活動を育ててくださることを期待しています。

イベントと発表会

博物館まつりは、当館で活動するさまざまなサークル・行事の活動と成果を紹介する催しです。展示のほか、発表会や実演などの催しがあります。ぜひご参加下さい。

●展示 平塚市博物館 特別展示室 2月9日(土)～2月24日(日)

●発表会 (2月16日(土) 午後1時～4時 博物館講堂 参加自由)

順	時間	サークル	タイトル	発表者
1	13:10～13:35	相模川の生い立ちを探る会	丹沢の自然金	加藤 邦明
2	13:35～14:00	古文書講読会	常次郎一件捕物始末記	兼松 弘行
3	14:00～14:25	石仏を調べる会	平塚のみちしるべ	中森 勝之
4	14:25～14:50	民俗探訪会	民俗探訪会2007	小山 明夫
	14:50～15:00	—	休憩	—
5	15:00～15:25	平塚の空襲と戦災を記録する会	平塚の軍需産業－古河電工(株)を中心に－	杉山 喜一
6	15:25～15:00	天体観察会	北斗七星のお話し	阿部 陽子

●実演・イベント (参加自由)

発表会： 2月16日(土) 午後1時～4時 [博物館講堂]

ビーチコーミング体験：2月16日(土) 午前9時30分～11時 [虹ヶ浜海岸・花水川河口集合] ※雨天時は2月23日(土)

真昼の星を見よう：2月16日(土) 午前10時～11時30分 [博物館屋上]

火起こし・弓矢体験：2月16日(土) 午前10時～12時 [博物館中庭]

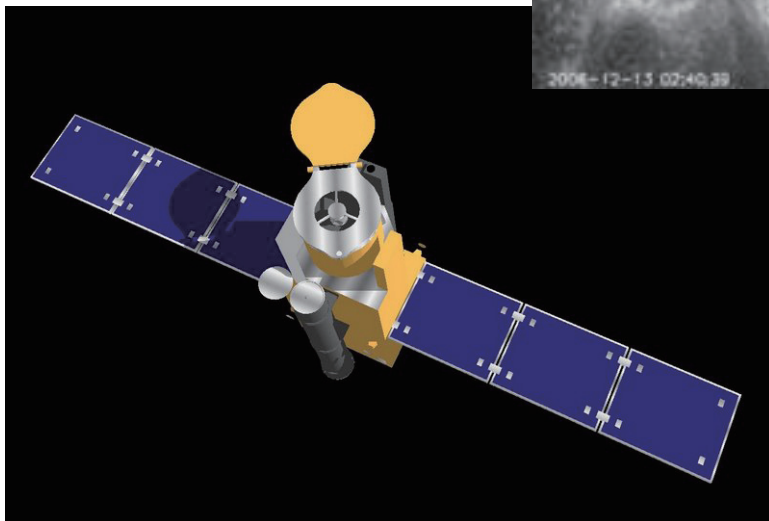
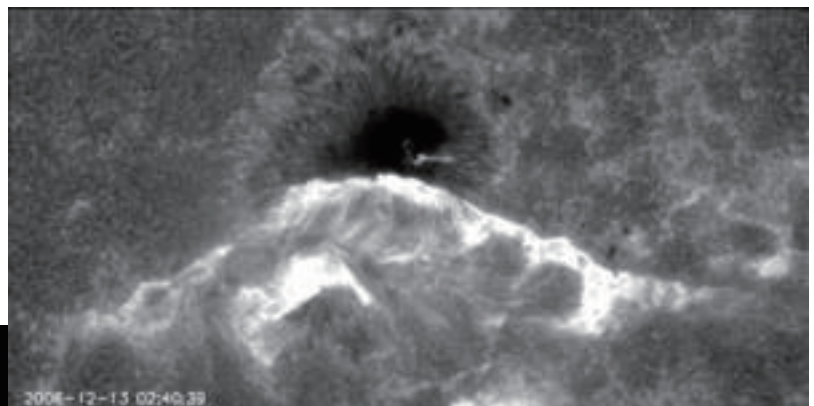
博物館太鼓連の演奏：2月16日(土) 午後0時30分～・午後4時30分～ [博物館玄関前]

展示解説(「五領ヶ台のくらし」・「平塚宿」を中心に)： 期間中の毎日・午後に受け付けます

裏打の会による裏打実演：2月20日(水) 午前10時～午後3時 [科学教室]

今月のプラネタリウム「太陽活動 ナウ」

ひのでがとらえたフレア爆発 2006年12月13日 (提供：国立天文台)



ひので衛星 (提供：国立天文台)

太陽はいま、もっとも静かな時期を過ごしています。極小期と呼ばれ、太陽活動が静まっています。黒点と呼ぶ太陽表面に見られる現象も、ここ1年ほどはたまにしか見られなくなっています。しかし、日差しが弱くなったり、季節のようすが変わったり、というようなことは感じませんね。太陽を光らせている太陽エネルギーの源はそんなに変わらないのですが、太陽の表面と大気ではいろいろなことが起きているのです。その元になっているのは、太陽の自転と磁場。今、世界の太陽観測衛星がその仕組みを調べています。日本の「ひので」も活躍中です。太陽活動をさぐる最前線をご紹介します。

* 期間 2月9日～4月6日

* 毎週土、日曜日 午前11時、午後2時投影開始

* ただし3月1日および4月5日土曜日午後2時の投影内容は「今月の星空ナビ」になります。

企画展 科博コラボミュージアム in 平塚 ＊

「今年はうるう年」

—こよみの歴史と時計の仕組みを科学しよう—

- 共催：国立科学博物館
- 会期：2月2日（土）～3月30日（日）
- 会場：博物館 1階 寄贈品コーナー、2階 情報コーナー

「科博コラボミュージアム」は、国立科学博物館が各地の博物館と連携して、その地域の自然科学、産業、文化などをテーマに、展示、講演会、体験教室などを開発して実施している事業です。昨年9月に科学博物館から照会があり、2008年がうるう年にあたるので、暦や時計の展示の企画を提案したところ、科学博物館の理工学部門と共同で実施することに決まりました。科学博物館からは、江戸時代から明治にかけての暦や、和時計、漏刻の模型、グランドファーザークロック（振り子時計）等の時計資料が展示され、博物館所蔵のふりこ時計（ぼんぼん時計）がチクタクと動き、時を告げます。函南町の月光天文台からは、2000年の世界のカレンダーも展示されます。

■主な展示資料

- かけ時計（グランドファーザークロック）
- 和時計、漏刻の模型
- 懐中時計マリンクロノメーター
- 天文時計、報時計
- 和暦（江戸暦、会津暦、仙台暦、南都暦、三島暦）
- 明治の官製暦（明治4年、7年、33年など）
- 月光天文台所蔵の2000年のカレンダー
- 世界各地のカレンダー
- 掛け時計
（ぼんぼん時計 明治から昭和20年代のもの）
- 現代の和時計



旧暦（江戸時代のこよみ） 国立科学博物館所蔵

■展示関連行事

★講演会

「こよみと時のおはなし」

日時：2月23日（土）午後3時30分～4時30分

会場：プラネタリウム室 参加自由

講師：佐々木勝浩氏（前国立科学博物館理工学部長）
西城 恵一氏（国立科学博物館）

★うるう年コンサート

演奏：インストユニット「style-3!」（スタイルスリー）

ピアノ、バイオリン、コントラバスの編成による、子供から大人まで楽しめる親しみやすいオリジナル曲の演奏を聞かせてくれます。

日時：2月29日 午後7時から

会場：プラネタリウム

申込：2月1日より電話にて受付

電話番号：0463-33-5111 「うるう年コンサート担当」

定員：先着70名



枕時計 国立科学博物館所蔵

特別展を映像化した番組が最優秀賞受賞！！

— 県広報コンクールで市広報課企画の作品 —

昨春の特別展「幕末の村おこし—二宮尊徳と片岡村・克議社報徳仕法」（担当：早田学芸員）を映像化した平塚市の広報ビデオが、神奈川県広報コンクール映像の部で最優秀賞を受賞しました。企画は平塚市広報課で、文化工房が制作した番組です。選評では「調査を重ねた郷土資料としても価値がある」という評価をいただきました。

平塚市のホームページ <http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/koho/tv.htm> からごらんになることができます。

1金	古文書講読会	講堂
	☆企画展「今年のはうるう年展」～3月中	展示室 1,2階
2土	☆プラネタリウム「2月の星空ナビ」	プラネ
	天体観察会	屋上・科学室
	平塚の古代を学ぶ会	講堂
3日	古代生活実験室	科学室
	天体観察会	屋上・科学室
6水	民俗探訪会	講堂
7木	展示解説ボランティアの会	特研究室
8金	古文書講読会	講堂
	☆博物館まつり(～24日)	特展示室
	☆プラネタリウム「太陽活動NOW」～4/6	プラネ
9土	地質調査会	屋外
	◎漂着物を拾う会	虹ヶ浜・科学室
	天体観察会	平塚海岸
	水辺の楽校生きもの調べの会	屋外
10日	○ひらつか探検隊!「平塚のどんどんやきを調べよう」	特研究室
14木	石仏を調べる会	特研究室
	古文書講読会	講堂
15金	◎星を見る会	屋上・科学室
16土	◎博物館まつり発表会	講堂
	博物館太鼓連	屋外
	地質調査会	科学室
17日	◎ろばたばなし	民家
20水	裏打ちの会	科学室
21木	展示解説ボランティアの会	特研究室
22金	古文書講読会	講堂
	相模川の生き立ちを探る会	大磯町鷹取山
	地域史研究ゼミ	特研究室
23土	平塚の空襲と戦災を記録する会	特研究室
	星まつりを調べる会	講堂
	◎科博企画展講演会	プラネ
24日	◎プラネタリウムで宇宙を学ぶ会	プラネ
	天体観察会勉強会	科学室
28木	石仏を調べる会	特研究室
29金	うるう年コンサート	プラネ

*2月29日(金)も臨時開館します

<展示とプラネタリウム>

☆科博コラボミュージアム in平塚

「今年のはうるう年展」こよみの歴史と時計の仕組みを科学しよう
 期間:2月2日(土)～3月30日(日) *2月29日(金)も開館します
 場所:展示室1階寄贈品コーナー・2階情報コーナー
 (詳細は3ページで)

☆第9回博物館まつり

会場:特別展示室
 期間:平成20年2月9日(土)～2月24日(日)
 (詳細は1～2ページで)

☆プラネタリウム「太陽活動NOW」

観測衛星による最新の映像をまじえ、太陽に起きるさまざまな現象を解説します。
 投影日:2月9日(土)～4月6日(日) 午前11時 午後2時
 *3月1日(土)、4月5日(土)の午後2時は別内容です
 観覧料:100円

☆プラネタリウム「今月の星空ナビ」

今月見られる天文現象、惑星、月などを解説します。
 投影日:2月2日(土)、3月1日(土) 午後2時 / 観覧料:100円
 *上記以外、2月3日(日)までの内容は「2008年の天文現象」です

1土	☆プラネタリウム「3月の星空ナビ」	プラネ
2日	平塚の古代を学ぶ会	講堂
	古代生活実験室	科学室
6木	展示解説ボランティアの会	特研究室
7金	古文書講読会	講堂
	地質調査会	屋外
8土	◎漂着物を拾う会	虹ヶ浜・科学室
	天体観察会	月光天文台
9日	水辺の楽校生きもの調べの会	屋外
13木	石仏を調べる会	特研究室
	古文書講読会	講堂
14金	◎星を見る会	屋上・科学室
	春期特別展「水辺の楽校へようこそ」～5/6	特別展示室
15土	博物館太鼓連	講堂
	○自然観察ウォーキング	野外
	地質調査会	科学室
16日	◎ろばたばなし	民家
18火	○雑貨団公演	プラネ
19水	裏打ちの会	科学室
	民俗探訪会	講堂
21金	古文書講読会	講堂
	相模川の生き立ちを探る会	富士川
	地域史研究ゼミ	特研究室
22土	平塚の空襲と戦災を記録する会	特研究室
	星まつりを調べる会	講堂
	◎プラネタリウムで宇宙を学ぶ会	プラネ
23日	天体観察会勉強会	科学室
	特別展記念水辺の楽校観察会	水辺の楽校
27木	石仏を調べる会	特研究室
	古文書講読会	講堂
28金	科博コラボ記念体験学習	科学教室
29土	特別展記念「水辺の楽校」交流会	講堂

<参加者募集>

◎星を見る会

望遠鏡で月のクレーターや土星の環を眺めます。
 日時:2月15日(金)午後7時～8時30分
 場所:博物館科学教室、屋上
 参加自由

◎プラネタリウムで宇宙を学ぶ会「月と人」

月探査機「かぐや」の映像もまじえて解説します。
 2月24日(日)午後3時30～4時30分
 場所:プラネタリウム室
 参加自由

◎漂着物を拾う会

海岸に流れ着いた物から、来歴を推理したり、自然環境を考えます。
 日時:2月9日(土)午前9時30分～11時
 場所:平塚虹ヶ浜海岸
 参加自由(初めての方は往復はがきで申し込んで下さい)

◎ろばたばなし

民家の囲炉裏端で昔話を聞いてみませんか。
 日時:2月17日(日)(1)午後1時20分～(2)午後3時～
 場所:展示室民家
 参加自由

☆:展示、プラネタリウム ○:申込制 ◎自由参加 無印:年間会員制